



石博だより Vol.8

石巻市博物館 R6.9
986-0032 石巻市開成1-8
マルホンまきあーとテラス内
TEL 0225-98-4831 FAX0225-98-4832

常設展示室から

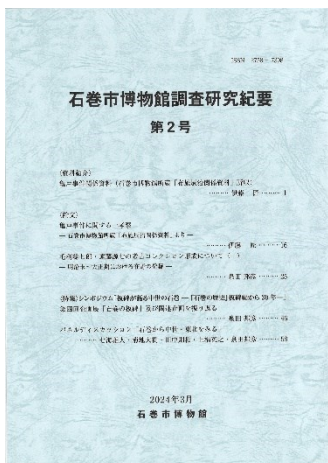
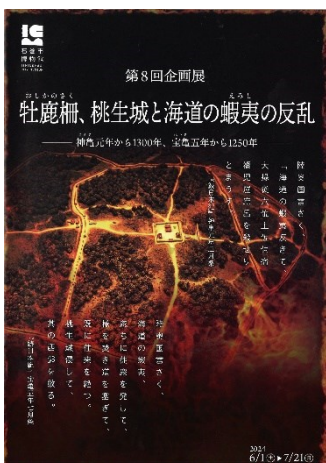
毛利コレクション特集展

「総七郎が見つめた近代石巻」
10万点を超える、コレクションから、今回は総七郎が生きた時代、明治から昭和のイベントや事件などの資料に焦点をあてました。
「川開き祭」や「戦争」。総七郎が生きた時代を体験してみては？



昭和初期の川開きボスターから水産共進会場まで

書籍情報



石巻市博物館発行の新たな刊行物です。第8回企画展の振り返り「牡鹿柵、桃生城と海道の蝦夷の反乱」(左上)と「石巻市博物館調査研究紀要」第2号(右上)です。企画展冊子は無料にて配布していますが、数に限りがありますのでお早めに。研究紀要は1冊500円(税込)で販売中です。

皆様、11月3日は何の日かご存知ですか？
ここだけのヒシですが「石巻市博物館開館記念日」です。(ヒシではないです。)おかけさまで、3周年を迎えることができました。今回も「高橋英吉」をメインテーマにイベントを開催します。
当日は、入館無料など博物館を楽しめる一日となっていますので、皆様の御来場をお待ちしています。

編集者のひとこと

みなさまお待たせしました。(待ってないよって声が聞こえます)第8号をやっと作る気になりました。スイヤ。ようやく、暑い夏が過ぎ去ろうとしており、朝晩涼しくなって、庭の草取りが始まりました。さて、皆さん。博物館のイメージってどんな感じですか。難しいとか思いませんか。かくいう私もはじめは思っていました。地元史なんか習いませうからね。でも、アイヌ文化は「ゴールデンカムイ」戦国時代は「信長の野望」や「信長協奏曲」。創作は入りますが、自分の好きな分野と結び付けて考えると意外とすんなり入るものです。佐藤忠良展も「おおきなかぶ」でぐっと身近になった気がします。参考にならないかもしれませんが・・・ところで「高砂淳二写真展」が現在は喜多方で開催中とのこと。喜多方ラーメンを目的に行ってみようかと計画中です。
(誤字脱字等ご容赦願います。) TM



世界が認めた、みやぎ出身の彫刻家「佐藤忠良」。その彫刻と絵の世界を体感してください。

第9回特別展

移動美術館 佐藤忠良展

ー宮城県美術館コレクションからー

フランス国立ロダン美術館での個展をはじめ、世界的に認められた彫刻家。戦争、シベリア抑留などを経験し、なお芸術の道を歩み続けた。日本人の手で初めて日本人の顔を表現したと高く評価された《群馬の人》。身体と衣服によって生まれる形態の均衡を意識し、独自の具象表現に至った《帽子・夏》。そして、動感あふれる描写とリズムミカルな場面展開によって読者の心をつかみ、いまや三世代にわたって読み継がれているロングセラー絵本『おおきなかぶ』。文化功労者や文化勲章の候補にも選ばれたものの、本人は「職人に勲章は要りませんから」と語り、国家の賞を全て辞退されています。カッコいいと思いませんか。



観覧は無料です。
この機会にぜひ!!

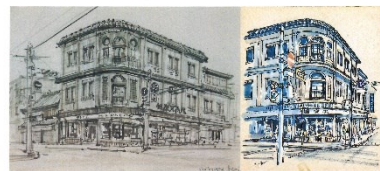


絵本「おおきなかぶ」のフोटスポットです。みなさん、恥ずかしいようですが、一緒にカブを引っっこ抜く写真を撮ってみては。絵本コーナーもありますので、お子さん連れで御来場ください。

旧観慶丸商店展示

石巻を描き続けた二人の画家の作品展「浅井元義・熊倉保夫合同スケッチ展～二人で描いた石巻～」を開催中です。高校時代からの画友で、ほかの仲間とともに美術グループを立ち上げた同志。同じ風景でも、画家によってその表現は異なります。今はなき風景もあり、二人の作品を見比べながら楽しんでいただければ。

入場は無料です。



浅井元義・熊倉保夫合同スケッチ展 二人で描いた石巻



会期 2024年8月22日(水)～10月28日(日)
会場 旧観慶丸商店 2階展示室(石巻市中央1-11-6)
午前9時～午後5時(入場無料)
入場無料

休館日は月曜日・祝日の場合はその翌日です。

不定期となりますが、本紙配信を希望の方は右記のメールに「配信希望」と記載し送信ください。



石巻市博物館

e-mail: culcenter@city.ishinomaki.lg.jp